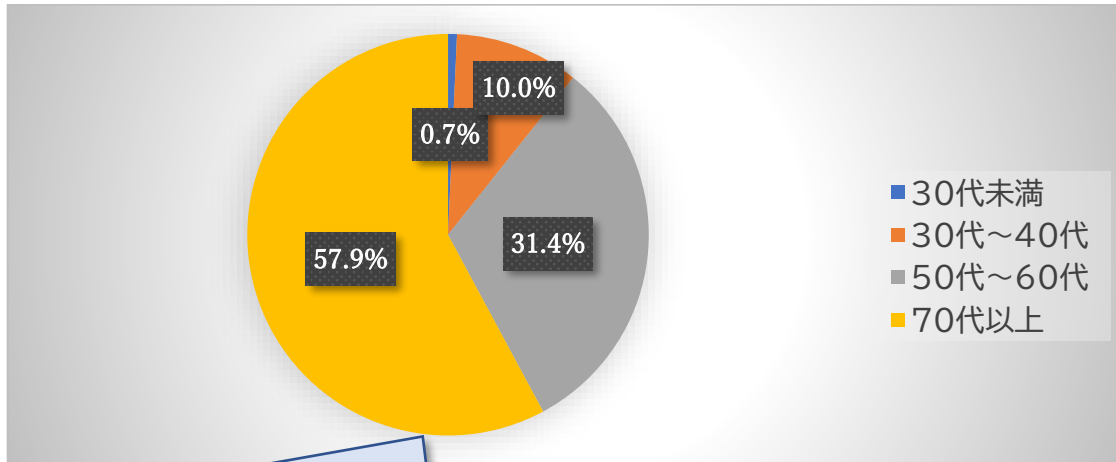


# 市民活動サポートセンター利用登録団体アンケート 実施結果について

※令和5年4月3日 10時時点、回答数(n)=140

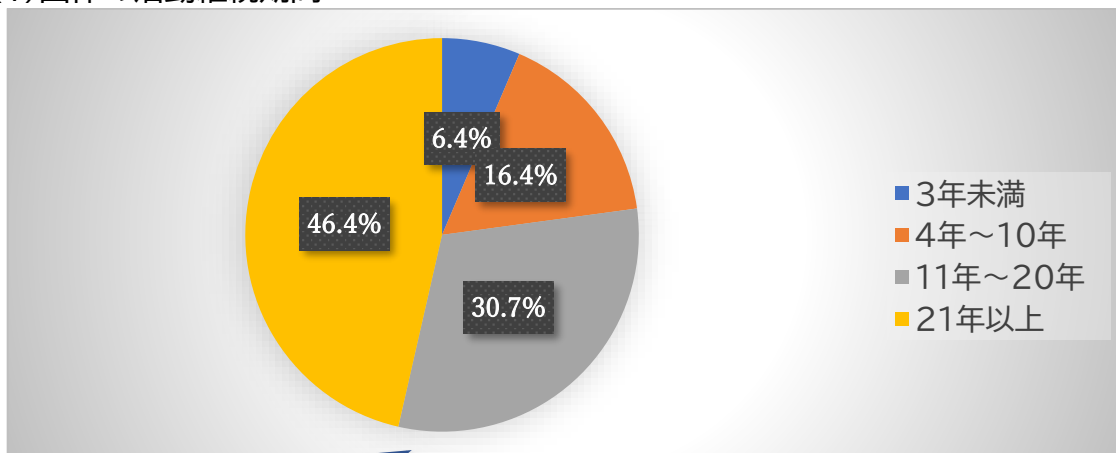
## 1. 代表者の年代について



代表者の年代は、50代以上の団体で約90%を占めています。

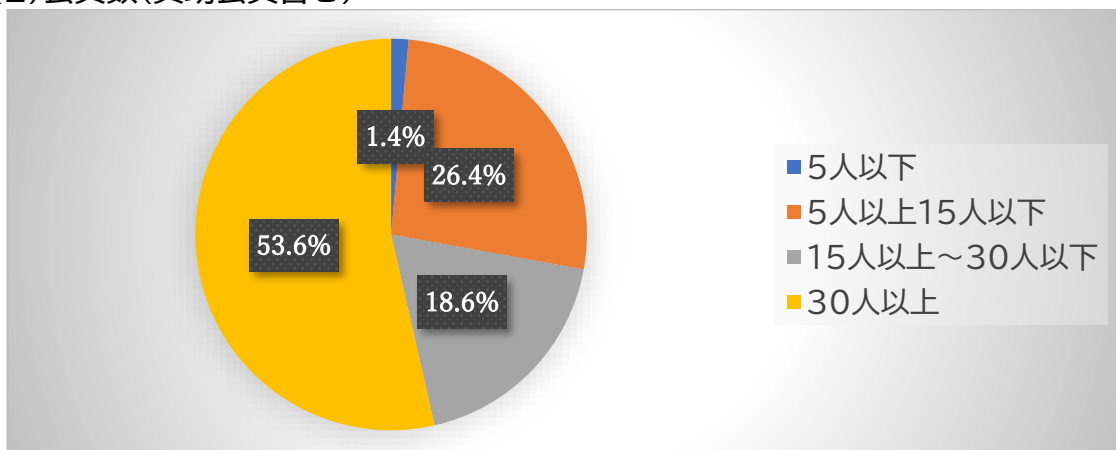
## 2. 団体属性について

### (1) 団体の活動継続期間



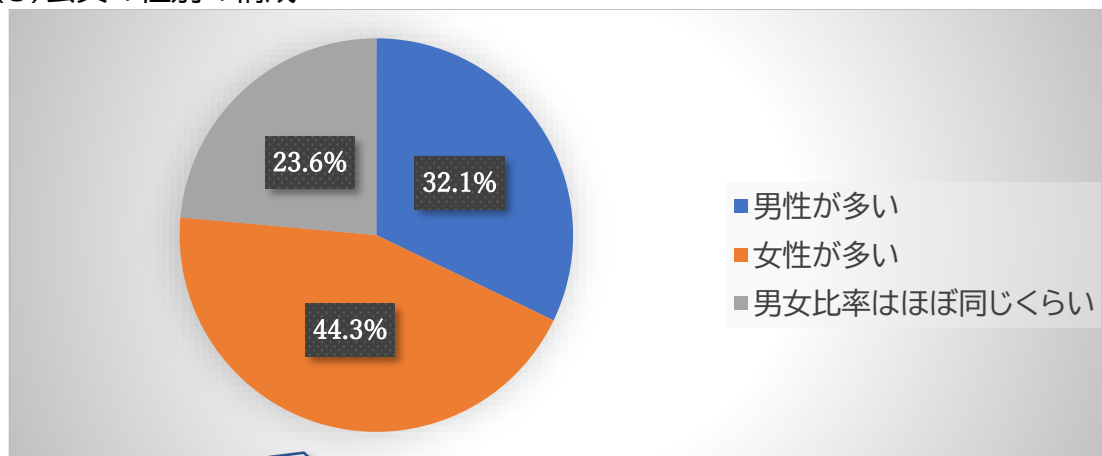
・団体設立後年数は11年以上の団体が約80%を占めています。

### (2) 会員数(賛助会員含む)



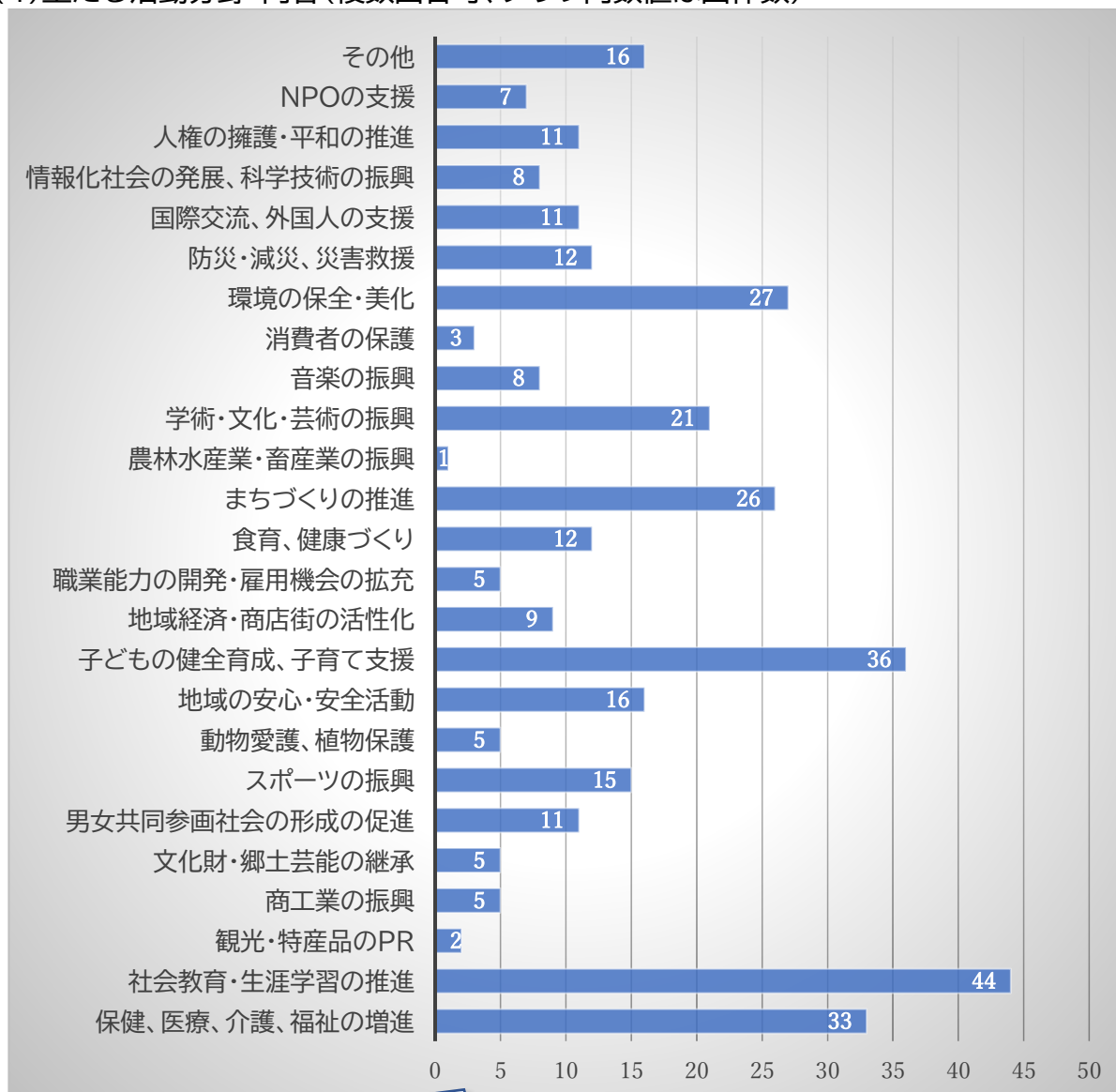
・会員数30人以上の団体が54%を占めています。

### (3)会員の性別の構成



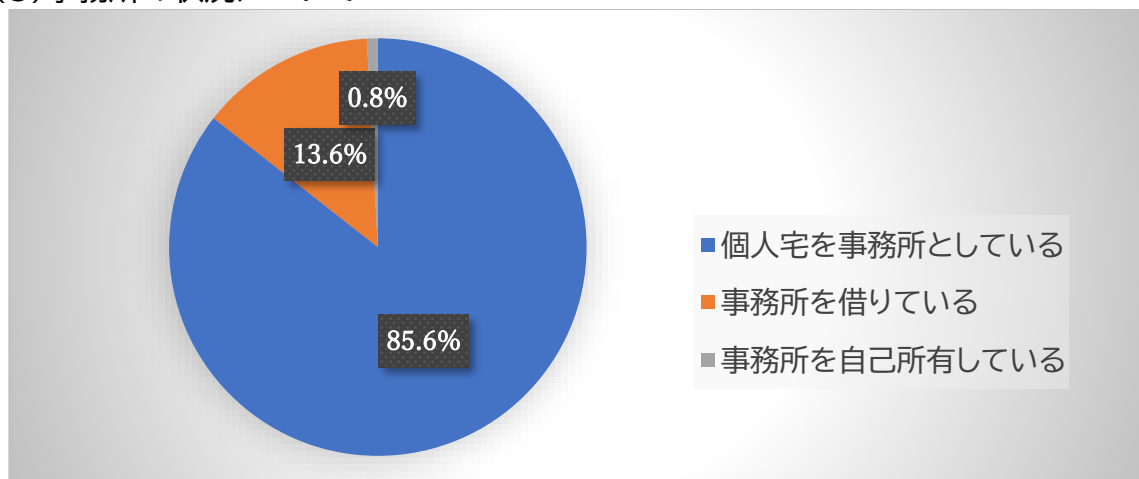
・女性会員の比率が高い団体が44%を占めています。

### (4)主たる活動分野・内容(複数回答可、グラフ内数値は団体数)



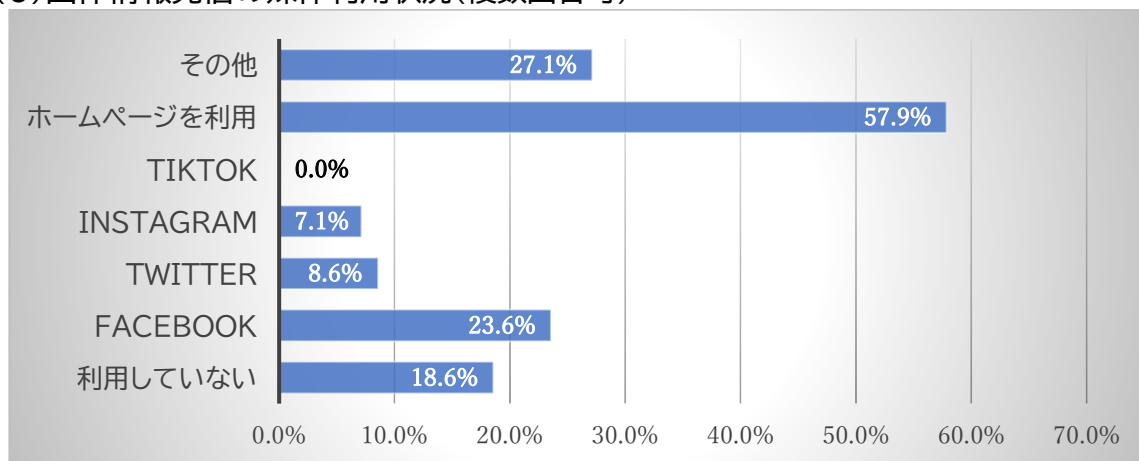
・活動の分野は幅広く分布していますが、①社会教育・生涯学習の推進 や②子どもの健全育成、子育て支援 ③保健、医療、介護、福祉の増進 などの活動に、特に多くの団体を取り組んでいることが分かります。

### (5)事務所の状況について



・約90%の団体は個人宅を事務所としています。

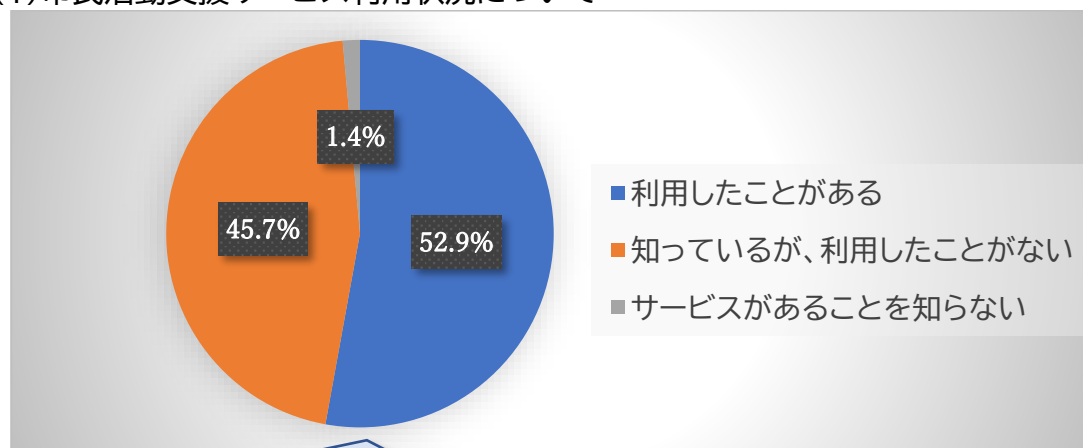
### (6)団体情報発信の媒体利用状況(複数回答可)



- ・ホームページを活用している団体が約60%を占めています。
- ・SNSでは、Facebookが最も利用率が高く、おおよそ4団体に1団体が利用しています。

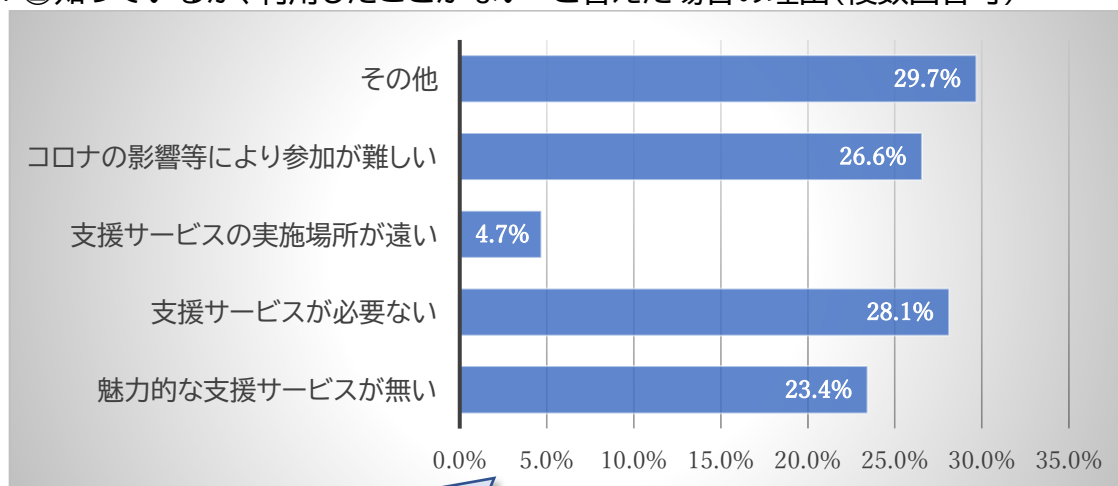
## 3. 事業活動全般について

### (1)市民活動支援サービス利用状況について



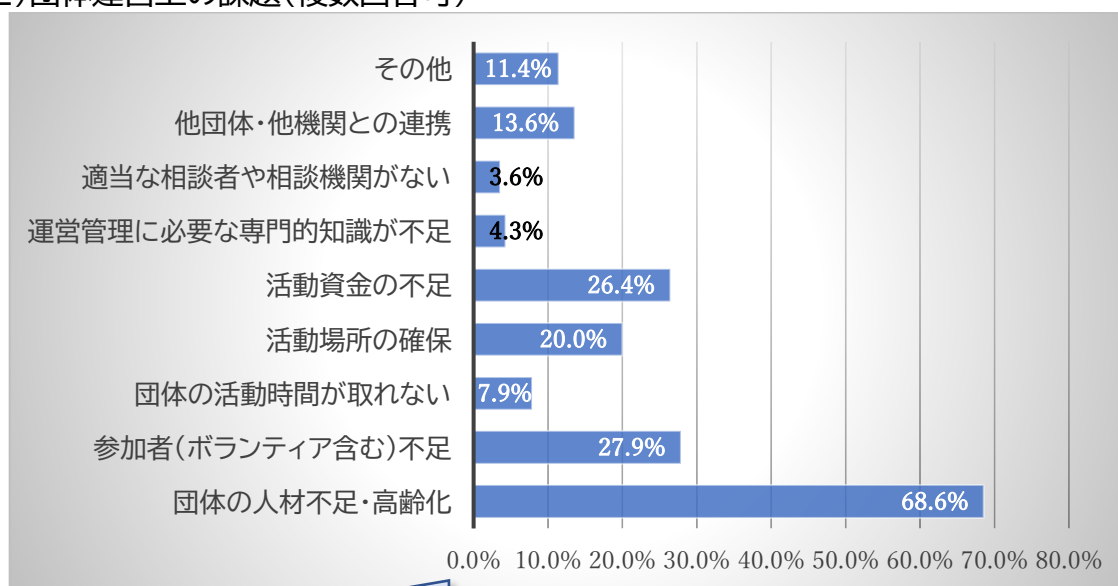
・約半数の団体が市民活動支援サービスを利用したことがあると答えています。

\*②知っているが、利用したことがない と答えた場合の理由(複数回答可)



・市民活動支援サービスを知っているが利用したことが無い理由として、おおよそ4団体に1団体は「魅力的な支援サービスが無い」と答えています。

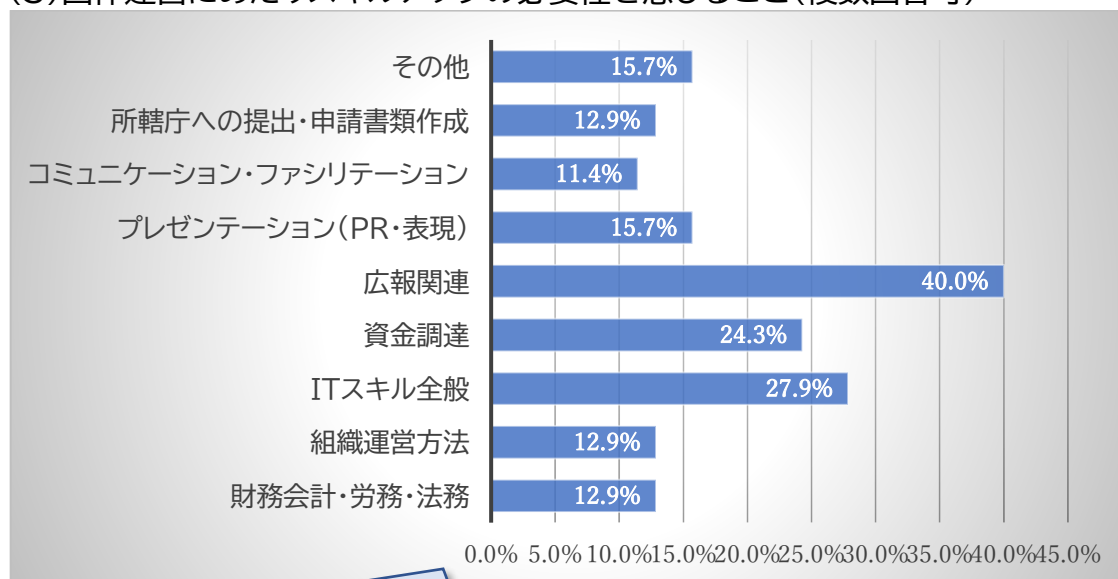
(2) 団体運営上の課題(複数回答可)



団体運営上の課題については回答の多い順に、以下のとおりとなっています。

- ①人材不足・高齢化 (68.6%)
- ②参加者(ボランティア含む)(27.9%)
- ③活動資金の不足(26.4%)
- ④活動場所の確保(20%)

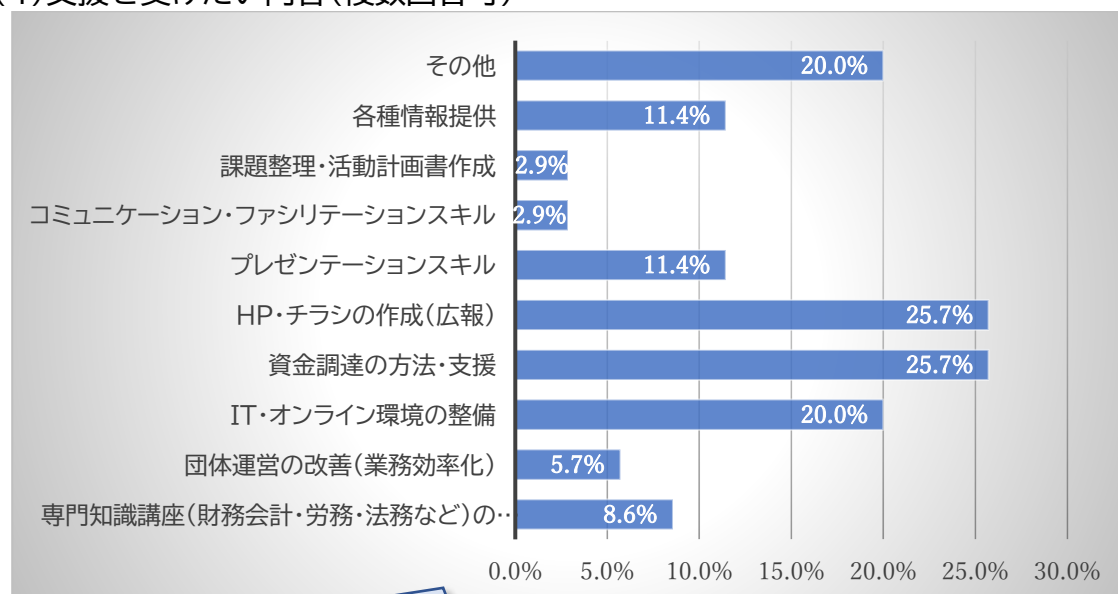
### (3) 団体運営にあたりスキルアップの必要性を感じること(複数回答可)



スキルアップのニーズについては回答の多い順に以下のとおりとなっています。

- ① 広報関連 (40.0%)
- ② ITスキル全般 (27.9%)
- ③ 資金調達 (24.3%)

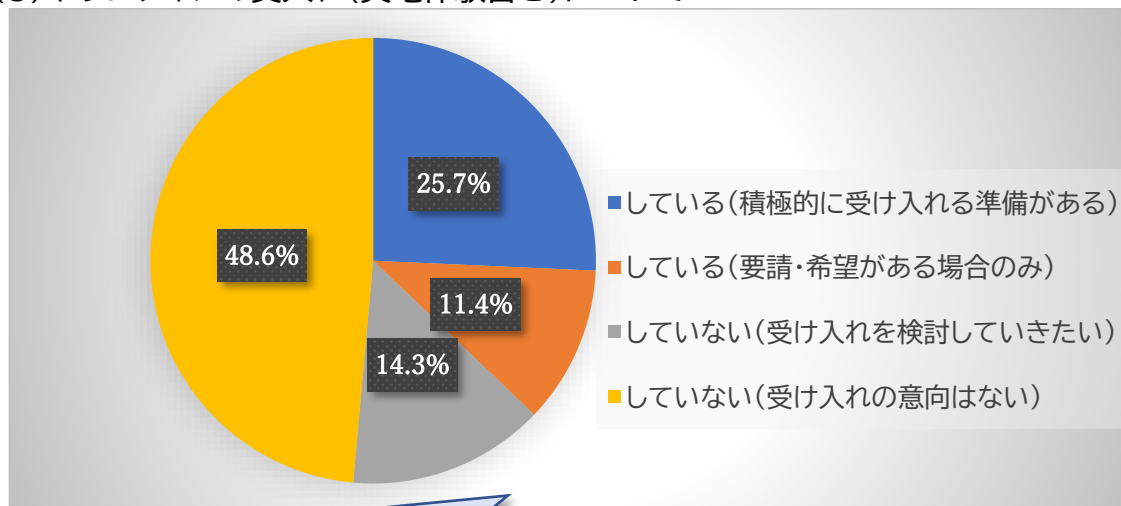
### (4) 支援を受けたい内容(複数回答可)



支援を受けたい内容については回答の多い順に以下のとおりとなっています。

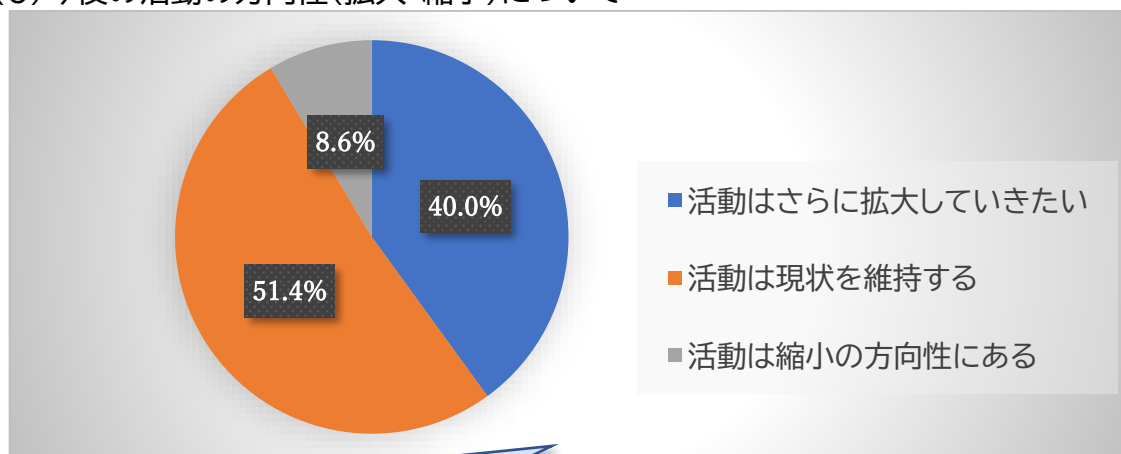
- ① HP・チラシの作成(広報) (25.7%)
- ① 資金調達の方法 (25.7%)
- ③ IT・オンライン環境の整備 (20.0%)

#### (5) ボランティアの受入れ(実地体験含む)について



- ・4 団体に 1 団体は積極的にボランティアを受け入れる準備があると答えています。
- ・約半数の団体はボランティアの受け入れ意向はないと答えています。

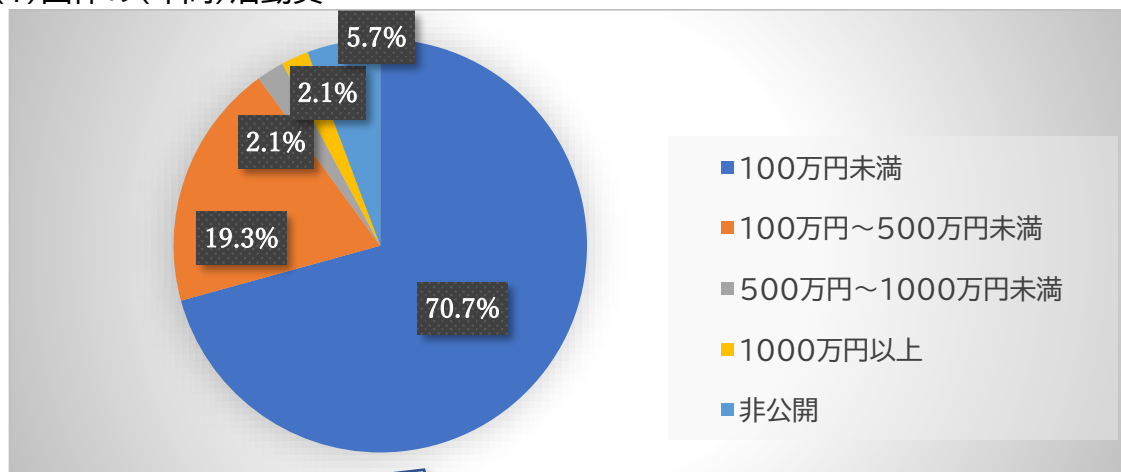
#### (6) 今後の活動の方向性(拡大・縮小)について



約40%の団体が「さらに拡大していきたい」と答えている一方、約半数の団体は「現状を維持する」と答えています。

### 4. 財務状況について

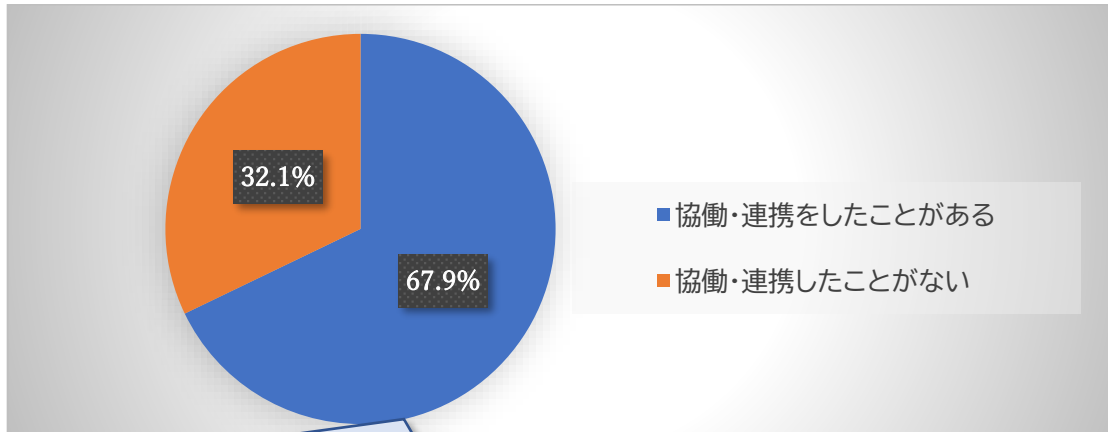
#### (1) 団体の(年間)活動費



約70%の団体が年100万円未満の活動費となっています。

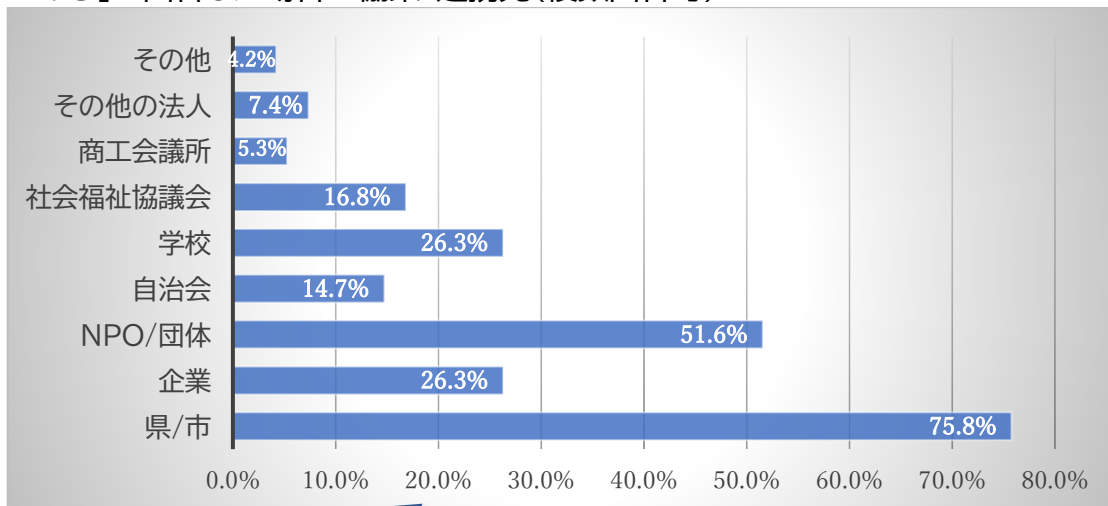
## 5. 協働・連携について

### (1) 企業・市民団体・行政等との協働・連携の経験について



約70%の団体が協働・連携をしたことがあると答えています。

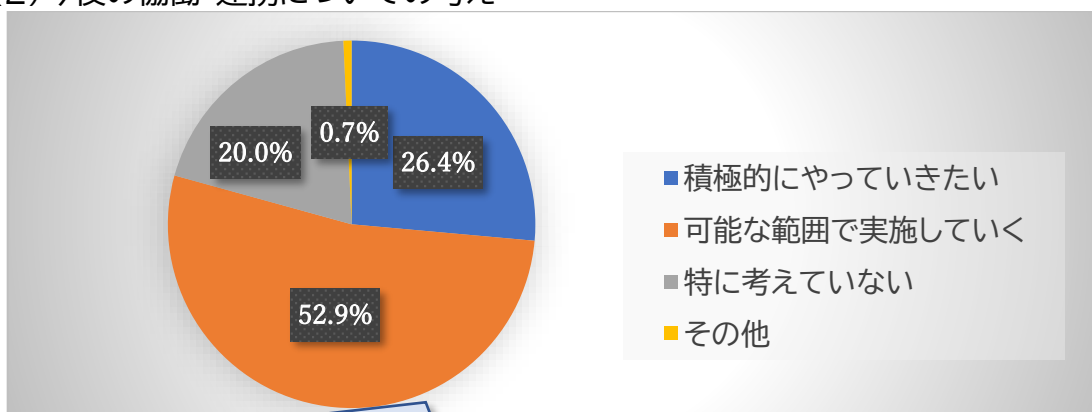
### ※「ある」と回答した場合の協業・連携先(複数回答可)



連携先の実績として回答の多い順に、以下のとおりとなっています。

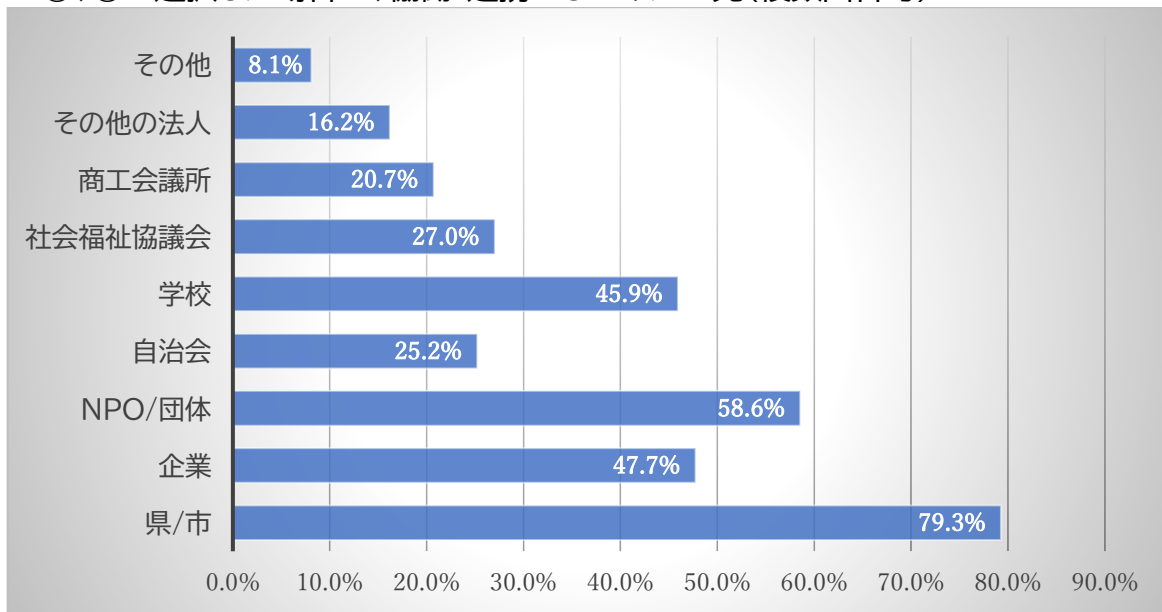
- ① 県/市(75.8%)
- ② 他のNPO/団体(51.6%)
- ③ 学校・企業(共に26.3%)

### (2) 今後の協働・連携についての考え



約4団体に1団体は協働・連携に積極的な意向があり、約半数の団体は「可能な範囲で実施していく」と答えています。

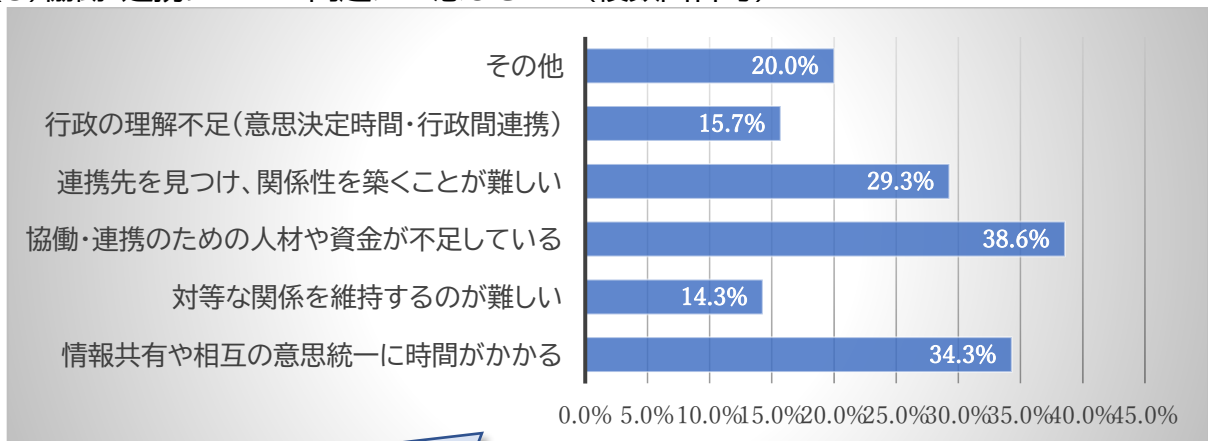
※①、②を選択した場合の、協働・連携をしてみたい先(複数回答可)



連携してみたい先として回答の多い順に以下のとおりとなっています。

- ①県/市(79.3%)
- ②他のNPO/団体(58.6%)
- ③企業(47.7%)
- ④学校(45.9%)

(3)協働・連携について問題だと感じること(複数回答可)

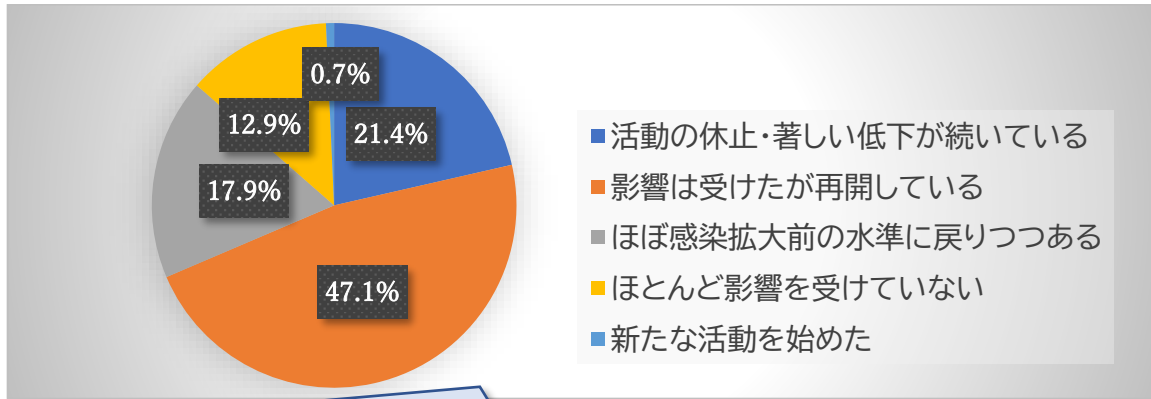


- ・約40%の団体が「人材や資金の不足」と答えています。
- ・およそ3団体に1団体は、「情報共有や意思統一の難しさ」と答えています。



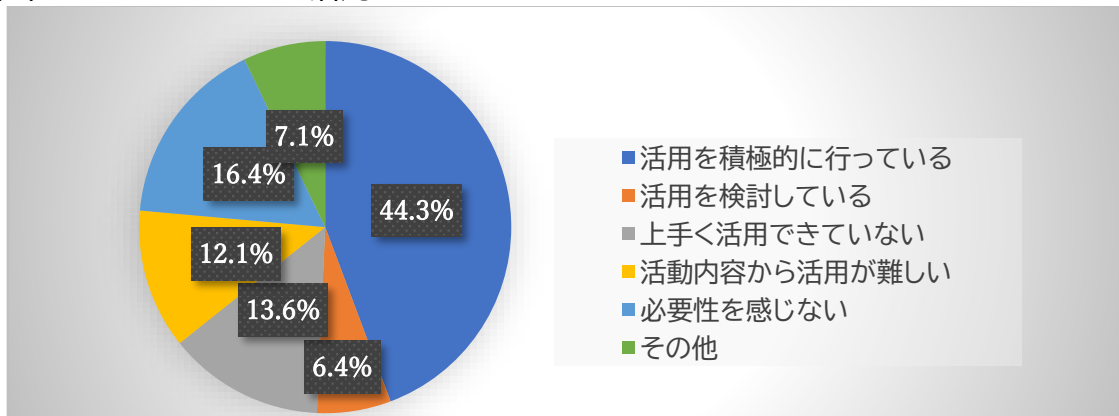
## 6. 活動状況について

### (1)現在の活動状況について(コロナの影響について)



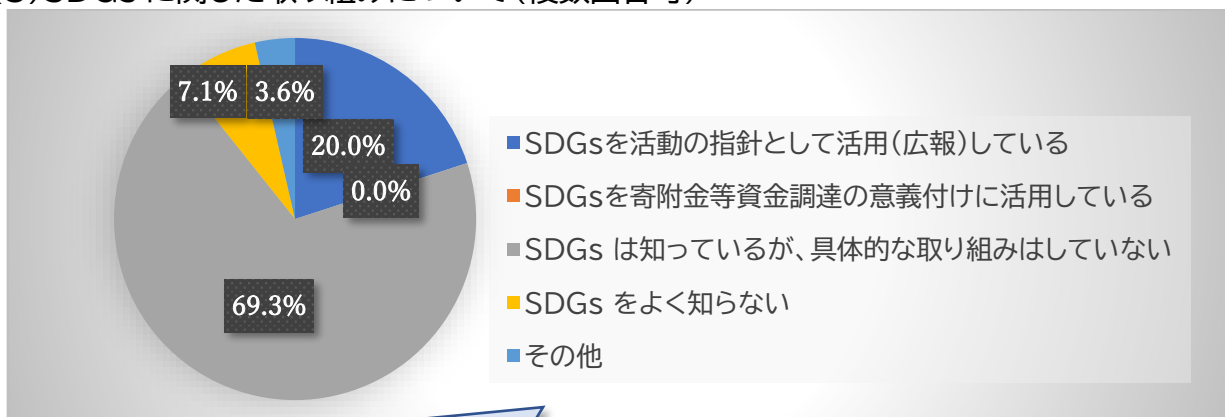
- ・約半数の団体がコロナの影響はあったが活動は再開していると答えています。
- ・およそ5団体に1団体は活動の休止・著しい低下が続いていると答えています。
- ・ // ほぼ感染拡大前の水準に戻りつつあると答えています。

### (2)オンライン・WEBの活用について



- ・約半数の団体がオンライン・WEBの活用を積極的に行っていると答えています。
- ・約30%の団体が「うまく活用できない」または「活動内容から活用が難しい」と答えています。

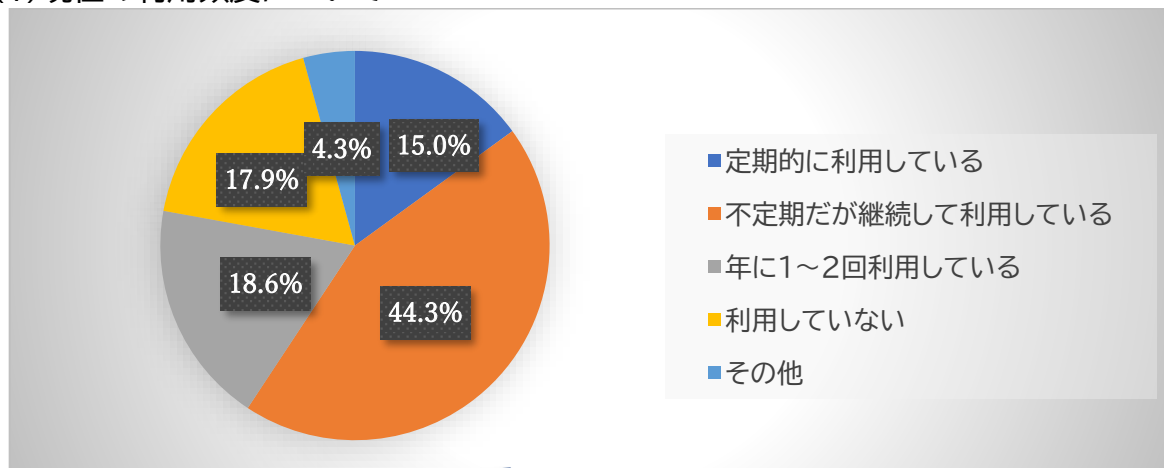
### (3)SDGs に関する取り組みについて(複数回答可)



- ・約70%の団体が「SDGsは知っているが、具体的な取り組みはしていない」と答えています。
- ・5団体に1団体は「SDGsを活動の指針として活用している」と答えています。

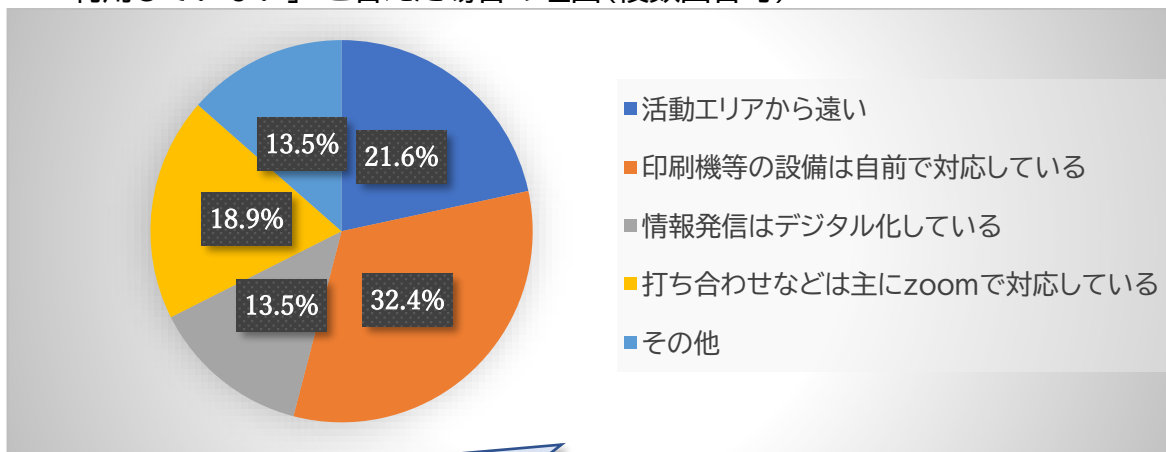
## 7. サポートセンター利用について

### (1)現在の利用頻度について



・約44%の団体が「不定期だが継続して利用している」と答えています。

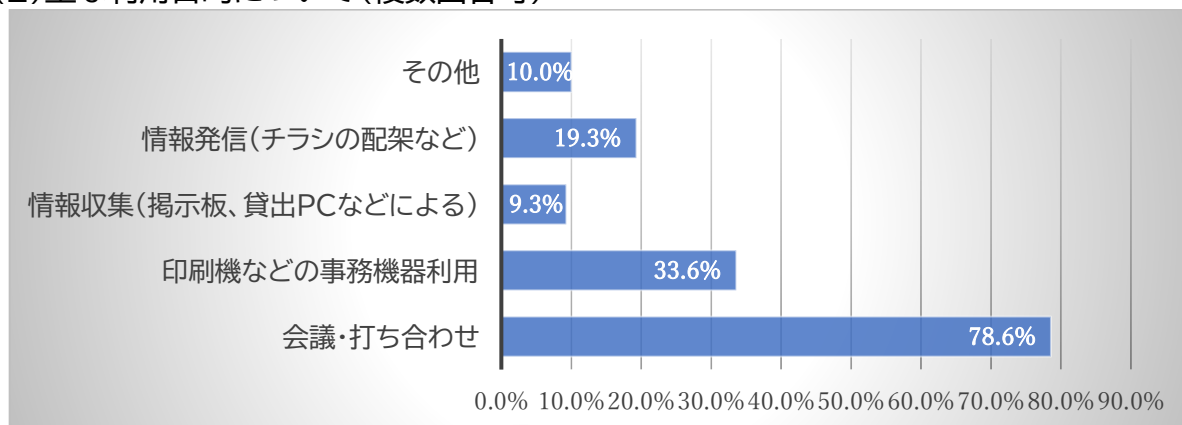
### \*「利用していない」と答えた場合の理由(複数回答可)



・約30%の団体が「設備を自前で対応している」と答えています。

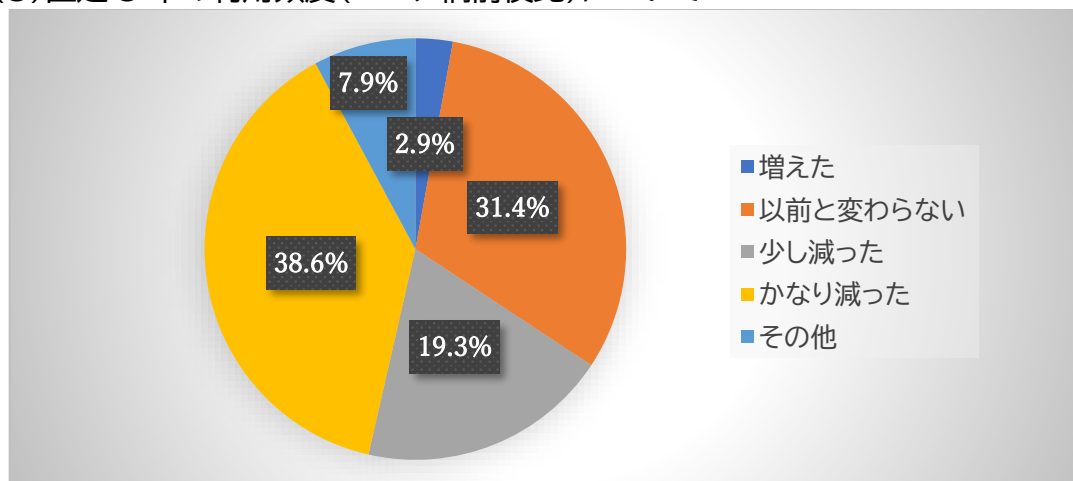
・約30%の団体が「情報発信および打ち合わせ」などをデジタル対応していると答えています。

### (2)主な利用目的について(複数回答可)



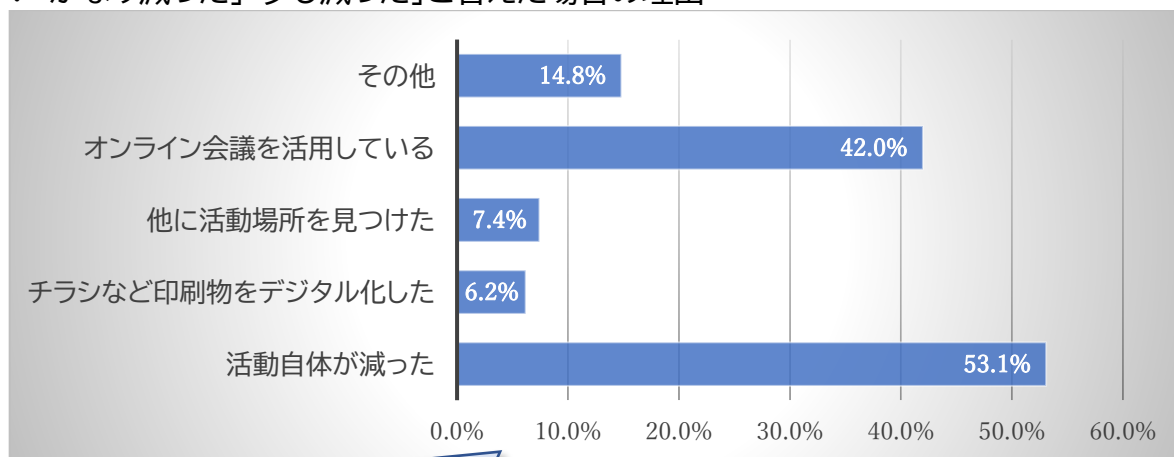
・約80%の団体が「会議・打ち合わせ」を目的にサポートセンターを利用しています。

### (3)直近3年の利用頻度(コロナ禍前後比)について



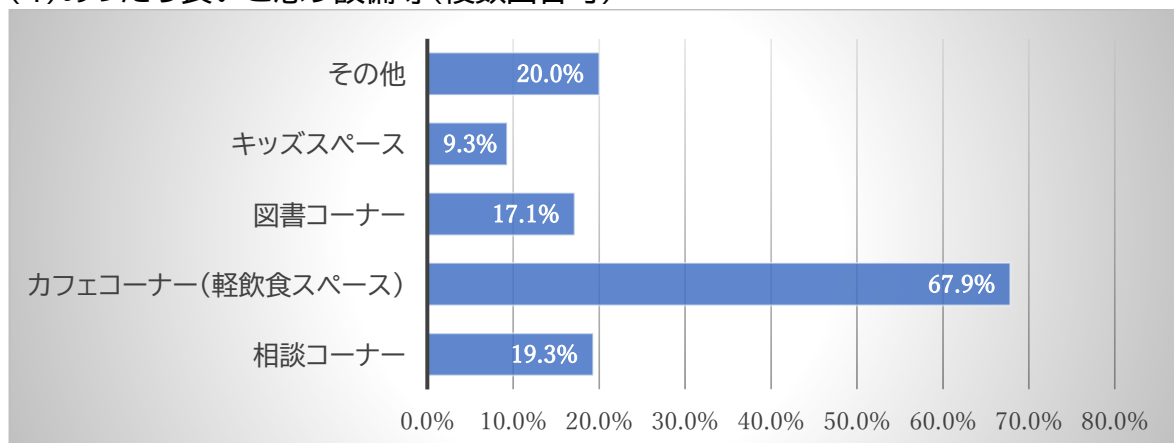
・約60%の団体が「かなり減った」または「少し減った」と答えています。

#### \*「かなり減った」「少し減った」と答えた場合の理由



・約半数の団体が「活動自体が減った」と答えています。  
・約40%の団体が「オンライン会議を活用している」と答えています。

### (4)あったら良いと思う設備等(複数回答可)



・約70%の団体が「カフェコーナー(軽飲食スペース)」があったら良いと答えています。